

平成 3 0 年 度
浦 添 市 地 域 公 共 交 通 会 議
【 第 1 回 】

資料 3 : 実験予定バス車両を用いての
試走実施結果

平成30年10月24日
浦添市都市建設部都市計画課

実験予定バス車両を用いての試走実施結果

※ルートや懸案箇所の詳細は議案の支線公共交通運行ルート（案）で示す

【試走を行った背景と目的】

コミュニティバスの推奨運行ルート2案について、今年の9月にバス事業者（沖縄バス、東陽バス、那覇バス・琉球バス）へバスの運行に関する事前ヒアリングを実施した。その結果、バス事業者より、推奨ルート2においては狭隘道路が多いことから、図面上ではわからない課題や問題点等を実験開始前に把握するために、バスの試走について提案が挙がった。そこで、バス事業者の協力のもと推奨ルート1及び推奨ルート2において、実験で用いる予定の小型バスでの試走を行った。

【試走の概要】

試走実施日時：平成 30 年 10 月 7 日（日） 8 時～12 時

参加者：浦添市（3 名）、沖縄バス（1 名）、沖縄しまたて協会（3 名）

試走乗務員：那覇バス

試走ルート：推奨ルート1および推奨ルート2

※試走にあたっては、関係者会議（出席者：バス事業者、国、市、コンサルタント）において、推奨ルートの走行映像を確認しながらバス事業者と意見交換を実施し、小型バス（ポンチョ）での試走ルートを検討した。

▼試走に用いた実験予定バス



▼試走前ルート確認状況



▼バス車内

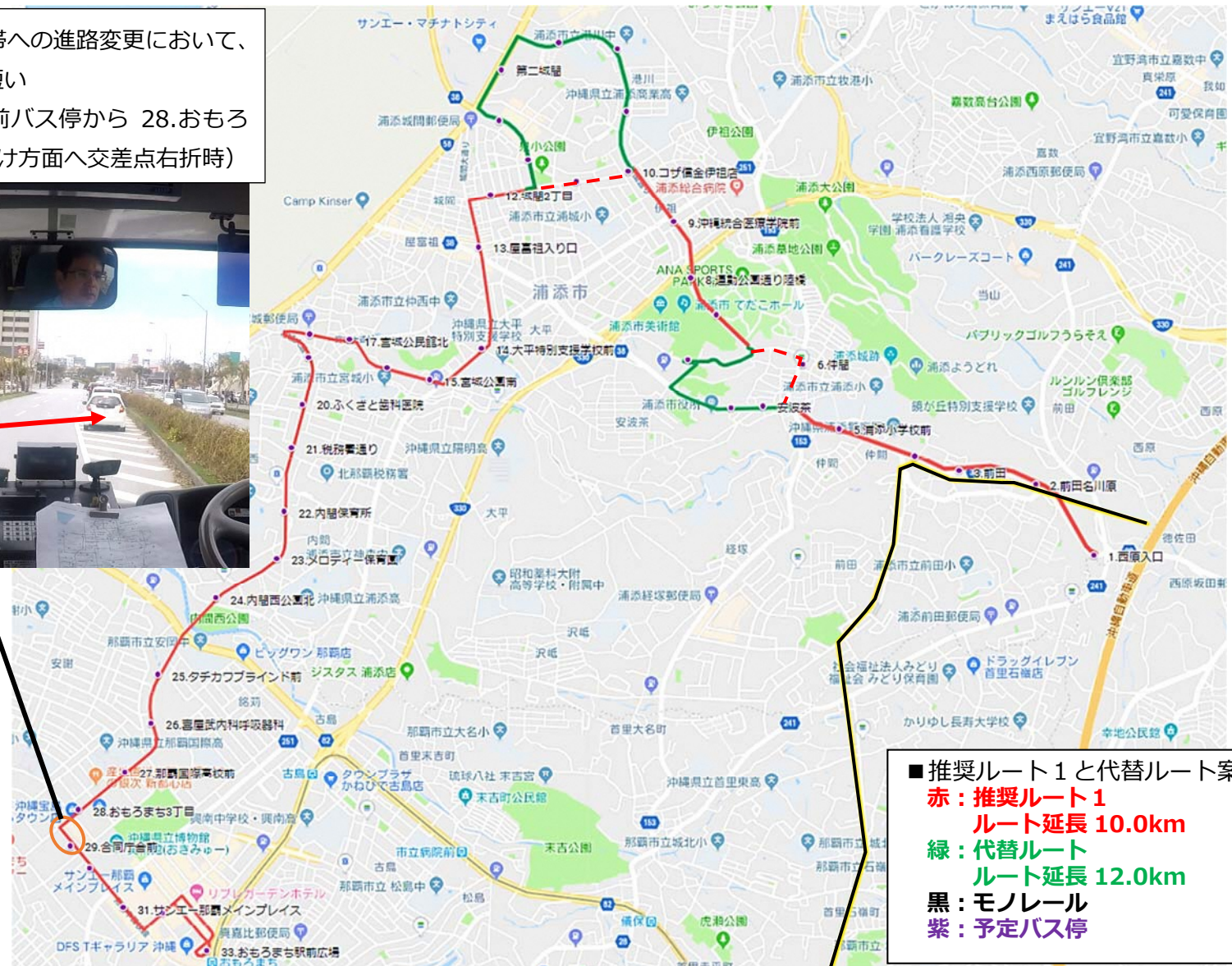


▼試走状況



【推奨ルート 1】

懸案事項：バス停から右折帯への進路変更において、
車線移動距離が短い
(29.合同庁舎前バス停から 28.おもろ
まち 3 丁目目け方面へ交差点右折時)



【推奨ルート2】

懸案事項：狭隘道路の走行時の安全性の確保が困難
(経塚から沢岨の昭和薬科付属前を走行するルート)



懸案事項：狭隘道路の走行時の安全性の確保が困難
(かねひで広栄店から浦西3丁目にかけてのルート)



※その他の懸案事項：狭隘道路の走行時の安全性及び停止線の位置調整、道路沿いの植栽とバスの接触など